



シングルマザーズルーム
ファシリテーターおすすめ絵本
～調布市男女共同参画推進センター～



2022.8

	書名	著者	出版社	出版年	貸出番号
1	生きる	谷川俊太郎(詩)岡本よしたろう(絵)	福音館書店	2017.3	Mタ-3895
	<p>いま、このときを、生きる。</p> <p>日本を代表する詩人谷川俊太郎さんの「生きる」は、壮大な詩なので絵をつけるのは難しいと思うのですが、この絵本は、ある一家の夏のひとこまを具体的に描いています。おじいちゃんの誕生日を祝いながらオリンピックを見ているシーン。偶然ですが、絵本にあるカレンダーの日付は2021年7月と一緒！昨年は日本でオリンピックが開催されました。そんなびっくりする発見もある絵本です。</p>				
2	あいうえおの き	レオ=レオニ 谷川俊太郎(訳)	好学社	2019.4	ML-3894
	<p>ひとつの文字たちの、大きなちから。</p> <p>小さな魚たちが大きな魚に立ち向かう「スイミー」で知られる作家レオ=レオニらしい絵本。お気に入りの葉っぱについていた文字たちは、嵐で吹き飛ばされてしまい、すっかりおびえて木の下に縮こまってしまいます。ある時「ことばむし」に導かれ少しずつ「言葉」をつくっていく。ねこ、わたし、はっぱ…。言葉になった文字たちは風に吹かれても怖くなくなり、やがて、本当に大事な文章を作って行動します。この絵本には、ひとつのちからは小さいけれど、思いを一緒にすれば大きなことができる、という勇気に満ちています。</p>				
3	おしっこちょっぴりもれたろう	ヨシタケシンスケ	PHP研究所	2021.5	Mヨ-3896
	<p>自分だけじゃないよ、って。</p> <p>子供だけではなく大人にも大人気のヨシタケシンスケさん。タイトルがユニークなので面白い話なのかと思いますが、意外や意外、深いのです。誰もが多かれ少なかれもれたろうのように困りごとを抱えているんだなあ、とわかります。そして、最後には、もっとも身近なところにもれたろうと同じ悩みを持つ人がいた！！となり、思わずクスッと笑ってしまいます。ちょっと疲れたなあ、と思ったときにおすすめの絵本です。</p>				
4	しきぶとんさん かけぶとんさん まくらさん	高野文子	福音館書店	2010.2	Mタ-3954
	<p>受け止めてもらえる、しあわせ。</p> <p>漫画家高野文子さんが描く初めての絵本です。表紙のちょっとと首をかしげた男の子が可愛いですよね。夜眠るのが怖いのだらうなあ、と想像します。小さい子にとって世の中ははじめてのことばかりで不安に思うことがたくさんあるはず。そんな思いを、しきぶとんさん、かけぶとんさん、まくらさんが、しっかり受け止めてくれます。「まかせろ！まかせろ！」頼もしい言葉です。</p>				
5	パパの彼女は	ジャニス・レヴィ(作) クリス・モンロー(絵) もん(訳)	岩崎書店	2018.4	Mジ-3972
	<p>この愛情、深くてカッコイイ。</p> <p>20年前、子育てに悩んでいた時に出会った絵本です。カノジョの行動は、まさに目から鱗でした。タイトルから想像するとシングルマザーの家庭でしょうね。ちょっとおませで繊細な感性を持つ少女は、世間の常識とは違うパパのカノジョを冷めた目で見ています。やがて、一緒に過ごしていくうちに、少女を丸ごと肯定する愛情に接して心を通わせていく。カノジョの愛情表現がありきたりじゃなくてとてもカッコイイのです。</p>				
6	ボクサー	ハサン・ムーサヴィー(作) 愛甲恵子(訳)	トップスタジオ HR	2021.1	Mハ-3971
	<p>ボクサーのこぶしの先にあるものは？</p> <p>父の形見のグローブをはめ、打って、打って、打ちつづけたボクサー。草原を、雲を、木を、すべてを打った。そして打つものが何もなくなると、ボクサーは立ち止まり、考える。自分は何のために打っているのかと。本書は、第27回ブラチスラバ世界絵本原画展(BIB)グランプリ受賞作品です。ページをめくると、色鮮やかでパワフルな絵が目に飛び込んできます。独特な魅力に満ちあふれたハサン・ムーサヴィー氏の絵本の世界をぜひ堪能してください。</p> <p>※「ボクサー」の担当編集者であるトップスタジオHR三島絵美さんにコメント書いていただきました。「大人の絵本読み合い会」で三島さんと知り合い、イランの絵本に初めて出会ったのです。絵がとても強くて打ちのめされました。</p>				